

**2019年度
町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト
(通称:町プロ)
活動報告**

～高齢者の在宅療養を支えるために～
医療・介護をはじめとした多職種が連携し、地域包括ケアシステムの構築を目指すことにより、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを推進します。

1 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会 協議事項等について

「町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会」を3回開催しました。

(1) 開催日 (全3回)

第1回 2019年 5月16日(木)

第2回 2019年10月17日(木)

第3回 2020年 2月20日(木)

(2) 主な協議事項 (第1回～第3回)

ア 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会設置要項について

イ 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト実施方針 (2019～2021 年度)、
(2020～2022 年度) (案) について

ウ 2019 年度町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト実施スケジュールに
ついて

エ 在宅医療・介護連携機能強化型地域包括支援センターの設置について

オ 第12・13回多職種連携研修会及び今後の研修会について

カ 町田市版退院調整シート (仮) について

キ シンボルマークを使用した広報活動について

ク 医療・介護資源マップについて

ケ 町プロポータルサイトについて

(3) 主な報告事項 (第1回～第3回)

ア 各地域ケア会議の報告について

イ 第12・13回多職種連携研修会の報告について

ウ グループ診療について

エ 第8回喀痰吸引研修について

オ 医療と介護の連携センターの実績について

カ 2019 年度在宅医療介護連携推進事業の取組結果について

キ 町プロ・シンボルマークの配布について

ク 在宅医療・介護連携機能強化型地域包括支援センターの開設について

2 多職種連携研修会について

医療・介護等のサービス提供者がスムーズに連携するチームケアの実現を目的に医療・介護関係者を対象とした専門職向け研修会と、在宅療養に関する知識の普及を目的とした市民向け研修会を、それぞれ1回ずつ開催しました。

(※これまでの実績) 2013年度：第1回(2014年3月)、
2014年度：第2回(2014年9月)、第3回(2015年3月)
2015年度：第4回(2015年8月)、第5回(2016年2月)
2016年度：第6回(2016年9月)、第7回(2017年2月)
2017年度：第8回(2017年9月)、第9回(2018年3月)
2018年度：第10回(2018年8月)、第11回(2018年12月)

●第12回多職種連携研修会(専門職向け)

(1) 開催日：2019年8月24日(土) 14:00～16:30

(2) 会場：町田市庁舎 3階災害対策本部室会議室

(3) 研修内容

・基調講演

「在宅における医療処置と多職種連携について」

ティエル訪問看護リハビリステーション町田 山崎 優子 氏
みんなの訪問看護リハビリステーション木曽 久保田 明日香 氏

・ワンポイントアドバイス

「痰を出すために」

南町田病院 理学療法士・三学会合同呼吸療法認定士 樋口 悟 氏



・グループワーク

「医療依存度の高い方の受入れ時に必要な連携と支援について」
～嚥下障害や胃瘻増設の状態で退院する高齢者の場合～



(4) 参加者数 170名

●第13回多職種連携研修会(市民向け)

(1) 開催日：2019年12月14日(土) 14:00～16:30

(2) 会 場：町田市民フォーラム 3階ホール

(3) 研修内容

・基調講演

①「救急活動の現状、#7119の活用」

町田消防署 警防課救急係 機動救急担当係長 岡田 昭彦 氏

②「救急の時の備えとは？」

町田慶泉病院 院長 自見 隆弘 氏



・パネルディスカッション

「救急車を上手に活用するには」

<パネリスト>

町田慶泉病院 院長 自見 隆弘 氏

たまがわ医院 院長 藤森 斉 氏

町田消防署 警防課救急係 機動救急担当係長 岡田 昭彦 氏

せりがや訪問看護ステーション 管理者 戸田 賀子 氏

忠生第2高齢者支援センター センター長 向 良昌 氏

<進行>

町田第1高齢者支援センター センター長 斉藤 美和子 氏



(4) 参加者数 189名

3 喀痰吸引研修について

「社会福祉士および介護福祉士法」の一部改正（注1）により介護を必要とする方に対し安全かつ適切に痰（たん）の吸引等を行うことができるホームヘルパーなどを養成することを目的に、医師会と協力して実施しています。

（注1）たんの吸引等について

医師や看護師に限定されていた、痰の吸引等について一定の研修を受けた介護職員等においては、医療や看護との連携による安全確保が図られている等、一定の条件の下でたんの吸引等の行為を実施できるようになりました。（H24.4「社会福祉士および介護福祉士法」一部改正により）

（1） 開催日：2019年9月14日（土）、15日（日）

（2） 研修場所：町田市医師会館

（3） 研修概要

特定の喀痰吸引等の医療行為が実施可能となる
第3号研修

（4） 参加者数 45名

参加者数累計 271名

（うち、実地研修実施人数累計 100名）



4 救急医療情報キットについて

高齢者の安全・安心を確保することを目的に、「かかりつけ医」「緊急連絡先」などの情報を専用の容器に入れ、自宅に保管しておくことで、万が一の救急時に備えるツールです。

（1） 運用方法

主疾患や服用中の薬、緊急連絡先等を記載した救急医療情報記録用紙が入った「救急医療情報キット」の専用ボトルを対象者宅の冷蔵庫に保管すると、緊急時に救急隊が情報を確認し、救急病院に情報提供をします。冷蔵庫と玄関にステッカーを貼ることで救急隊にボトルが冷蔵庫に入っていることを知らせることができます。

医療機関（かかりつけ医）、高齢者支援センターで配布しています。

（2） 対象者

ア 75歳以上の単身者（日中独居の方含む）

イ ア以外で医師が必要と判断した方

（3） 配布物

ア 救急医療情報キット専用ボトル

イ 冷蔵庫用ステッカー・玄関用ステッカー

ウ 救急医療情報記録用紙

エ 救急医療情報キットのご案内（パンフレット）



5 グループ診療について

医療検討部会を設置し、２０１７年４月から忠生地区で町田市版 主治医・副主治医制（グループ診療）モデルのトライアルを行ってきました。２０１９年度は、これまでの課題を踏まえて修正を加えた２０１９年度のモデルを作成し、忠生地区で試行を行い、検証しました。

【2019年度 部会開催実績】

第1回 2019年4月15日 (月)

第2回 2020年1月 7日 (火)

6 退院調整シートについて

入退院支援部会にて、病院を中心とした入退院支援がスムーズに行えるように、退院時の効率的かつ効果的な情報共有の仕組みについて検討し、退院支援においてケアマネジャーが退院後の在宅療養のために必要な情報を病院スタッフからヒアリングする際の項目をまとめた「退院調整シート」を2018年度に作成しました。

2019年度には、テスト運用を行い、その結果についてのアンケートを実施しました。今後は、本格運用しながらブラッシュアップを行っていきます。

町田市運動調整シート(仮)										記入者()	
調査機関・施設名(電話番号) _____											
カンファレンス開催日(ヒアリング日)		年 月 日 () カンファレンス () ヒアリング () 電話									
参加者名(ヒアリング者)名		_____									
所属・職種		_____									
労働者 氏名 生年月日 介護歴(開始年)	利用者氏名	性別 (男 ・ 女)				身長・体重 BMI	cm kg		BMI		
	明治・大正・昭和	年 月 日				☐ 未婚 ☐ 再婚 ☐ 区外定住中	日 数 (月)		☐ 要介護1・2・3・4・5・6		
	☐ 短期有期間 ☐ 短期有期間	年 月 日 ~ 年 月 日									
	入籍中の状況										
疾病の 状態	主病名										
	既往歴										
	入院期間	年 月 日 ~ 年 月 日									
	手術	☐ 有 (手術名:) ☐ 無									
特別な 設備	服薬状況	☐ 自己管理 ☐ 一部助介 ☐ 全介介 ☐ 服薬不要									
	点滴の管理	☐ 中心静脈栄養 ☐ 透析 ☐ 服薬療法									
	スチーム(人工肛門)の処置	☐ 異常切開の処置 ☐ 経管栄養									
	疼痛管理	☐ 鎮痛剤の処置 ☐ カテーテル ☐ 疼痛吸引 ☐ その他 ()									
食事	☐ 自立 ☐ 見守り等 ☐ 一部助介 ☐ 全介介										
	嗜好 () 食 ☐ 不食 ☐ 嗜好品 () 喫煙 () 喫煙 () 喫煙 () 喫煙 ()										
	飲料 () 飲 ☐ 不飲 ☐ 飲み ☐ 飲み ☐ 飲み () 飲み ()										
	制約 () 糖分 () 水分 () その他 ()										
口腔ケア	☐ 自立 ☐ 一部助介 ☐ 全介介										
	☐ 自立 ☐ 見守り等 ☐ 一部助介 ☐ 全介介										
	状態 () 自立 ☐ 杖 ☐ 歩行器 ☐ シェーサー () 車いす ()										
	☐ 自立 ☐ 見守り等 ☐ 一部助介 ☐ 全介介 ☐ 不可										
洗身	☐ シャワー () 清拭 () 擦介 ()										
	☐ 自立 ☐ 見守り等 ☐ 一部助介 ☐ 全介介										
	オアシス/パナソニック () 清拭 () 擦介 ()										
	☐ 洗身 () 不洗 () 洗身 ()										
排泄	☐ 自立 ☐ 見守り等 ☐ 一部助介 ☐ 全介介										
	オアシス/パナソニック () 清拭 () 擦介 ()										
	☐ 洗身 () 不洗 () 洗身 ()										
	☐ 洗身 () 不洗 () 洗身 ()										
認知機能	☐ 認知機能 () 認知機能 ()										
	☐ 認知機能 () 認知機能 ()										
	☐ 認知機能 () 認知機能 ()										
	☐ 認知機能 () 認知機能 ()										
リハビリ	☐ ADL練習 ☐ ADL練習 ☐ 運動機能練習 (ストレッチ等)										
	☐ パラリン練習 () その他 ()										
	☐ 運動制限 () 無 () 有 ()										
	☐ 運動制限 () 無 () 有 ()										
本人等の意向											
調査事項											

7 ケアマネサマリーについて

受診または入院の際に、介護保険サービスの利用者や家族の状況から治療及び退院時に積極的な支援が必要であるとケアマネジャーが判断した場合に、医療機関へ利用者の情報を提供するために使用するシートです。

2018年度はケアマネジャー連絡会が中心となって様式を見直し、改訂版ケアマネサマリーを作成しました。

試行期間を経て、2019年3月より本格運用を開始しています。

ケアマネサリ－

(町田市人院時・外来受診等情報提供書)

作成日 平成 年 月 日

氏名	性別
医療機関名	性
ご住所	氏名

以下の情報は、利用者及び家族等の同意に基づき提供しています。

名刺添付
(のりでしっかりと貼ってください)

添付しない場合は以下に記入

事業 所 名
担当ケアマネジャー
電 話 番 号

■ 提出理由

☐ 入院 外來受診 ☐ 医療係サービス利用によるケアプランの提出

■ 提出日

年 月 日

■ 基本情報

フリガナ	性別	医療機関（同一・変更は○で囲む） （キーパーソンは必ずつける）
氏名	男・女	
生年月日	大・中・小 年 月 日 歳	
住 所		
電話番号		
フリガナ	続柄	電話番号
家族氏名①	フリガナ	続柄
（キーパーソン）	家族氏名②	連絡がとけやすい時間帯
部分介護	☐ 未申請 ☐ 申請中 ☐ 部分変更中 ☐ 事業所対象者 ☐ 要支援（1・2） ☐ 要介護（1・2・3・4・5）	
介護度	☐ 生保（居宅付） ☐ 原簿 ☐ 特定居保 ☐ 障害者手帳（精神・身体・療養 種 級・度）	

■ 障害者生活の自然生活自立度

医療機関名・診療科（内科・歯科）	医師名	病状等・既往歴	服薬情報
------------------	-----	---------	------

■ サービス利用状況

☐ 訪問介護 ☐ 訪問看護 ☐ デイサービス ☐ 在宅療養指導指導

☐ その他
特記事項

■ 経過等

●入院等による経過（通院・退院情報）

●入退や介護状態の意向

■ 本人情報

食事 自立・要介助・一部介助・全介助 排泄 自立・要介助・一部介助・全介助 移動 自立・要介助・一部介助・全介助 認知 自立・要介助・一部介助・全介助 精神 自立・要介助・一部介助・全介助	特記事項
--	------

■ 付録情報 ☐ 基本情報 ☐ 居宅サービス計画書（第1～3巻） ☐ 照会内容 ☐ その他

●お願い 病院側で在宅生活に向けた支援の検討を開始する際に、ケアマネジャーに連絡してください。また、必要に

8 Dr.Link について

医師がケアマネジャーからの連絡や相談をスムーズに受けることができるように、あらかじめ医師が対応可能な曜日、時間帯、相談方法などをリスト化してケアマネジャーが医師と連絡や相談がしやすい環境をつくるケアマネタイムを導入しました。町田市版ケアマネタイムを「Dr.Link」と名付け、2015年3月から南圏域でモデル運用スタート。2017年4月から市内全域での運用開始となり、毎年更新を行っています。

町田市南地域Dr.Link(町田市版ケアマネタイム)一覧表														平成27年6～11月現在(1年ごとに更新予定です)	
地区	電話	FAX	e-mail	郵送	時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	その他注意事項等	備考	
つくし野	0426-8888 0426-8888		×	受付	午前	9:00～11:30	9:00～11:30	9:00～11:30	9:00～11:30	9:00～11:30	9:00～11:30	×	医師、医師受診のCM番号はOK プラン番号はOK	光療科にDr.Linkを掲載したい(内容あり)	
	②	①	×	③	午後	14:00～18:30	14:00～18:30	14:00～18:30	×	14:00～18:30	×	×			
つくし野	0426-8888 0426-8888				午前									ご高齢で新しいプロジェクトの参加は難しい 今は仕事も退職している状態の患者、退院後からケアも必要だが、訪問も受け入れ難しいとの事	
					午後										

9 医療と介護の連携センターについて

2016年10月に専門職向けに医療・介護の連携についての相談窓口を開設。

- ・委託先 町田市医師会
- ・配置職種 社会福祉士・介護支援専門員等
- ・業務内容 医療・介護事業者等からの在宅医療・介護連携に関する相談受付・支援
- ・実績 2019年度相談件数 190件

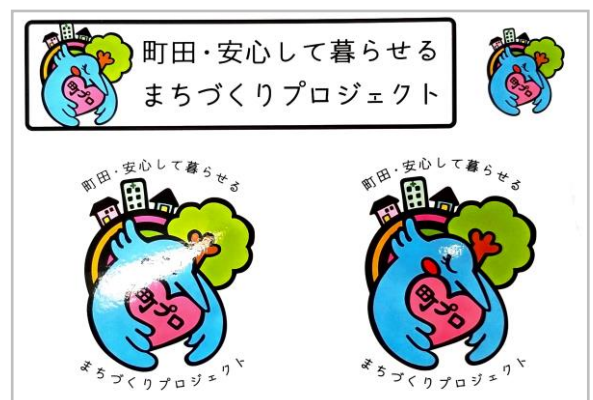
なお、2020年4月以降は、新たに開設した「医療と介護の連携支援センター（在宅医療・介護連携機能強化型地域包括支援センター）」が、業務を引き継ぎ、医療・介護事業者等からの在宅医療・介護連携に関する相談受付・支援を行っています。



10 シンボルマークステッカーの作成

2018年4月より、シンボルマークの募集・作成、活用方法及び広報活動の検討を目的に、シンボルマーク部会を16回開催。

2019年度は町プロ参加団体の連携意識を高めるべく、シンボルマークステッカーを作成し、町プロ参加団体へ配布を行いました。



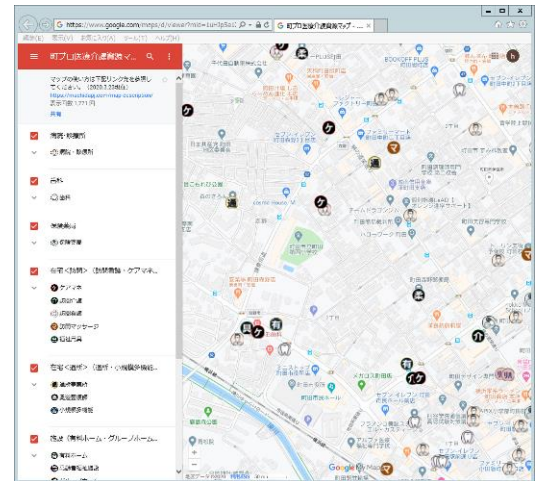
1 1 地域資源マップについて

「地域の医療・介護サービス資源情報の共有化」を推進し、医療機関や介護事業所等が連携するための地域資源情報を手軽に取得できる環境を作ることを目的に、2019年6月に「地域資源マップ検討部会」を設置しました。

2019年度は部会を4回開催し、方向性について検討し、2020年4月1日にインターネット上で閲覧出来る医療・介護資源マップを作成しました。

【2019年度 部会開催実績】

第1回	2019年6月25日（火）
第2回	2019年7月25日（木）
第3回	2019年8月29日（木）
第4回	2019年9月19日（木）



1 2 町プロポータルサイトについて

医療と介護の関係者が、町プロの活動について理解を深めるとともに、在宅医療・介護連携に必要な情報を共有するため、ポータルサイトの立ちあげ準備を進めました。なお、ポータルサイトは2020年4月1日に開設しています。

【主な掲載内容】

- ・医療・介護資源マップ
- ・町プロ協議会の議事録
- ・多職種連携研修会の開催結果
- ・連携ツールなど町プロの取組の紹介
- ・地域ケア会議の開催案内及び会議結果

